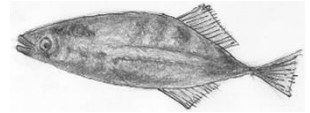


くまがや市民ネット準備会通信



生活クラブ運動の立ち上げ支援を受けています。

2022年10月24日発行 第7号

多くを求めすぎているのか!?

あなたはどのように感じていますか？

私は誕生して70数年、すべての環境の変化を経験してきた。
自然(特に東日本大震災)、
生活(新型コロナの世界的パンデミック)等。
しかし、今年くらい世界中が大きな問題、自然環境の変化に不気味さと不安感を感じさせられたことがあったでしょうか!?

気 候 変 動

温暖化による温度の上昇が原因となって
世界的規模の大雨、大洪水。
日照りによる水不足により、河川、湖の渇水
私達人類(もちろん地球上のありとあらゆる生きものにとって)
未来ってどうなってゆくのでしょうか!?

日常生活を通して身近なことから一緒に考えて行きましょう。

(嶋田)



生活クラブって学びと行動の

場! = 「生活と自治」ということ

いま、声を大にして言いたい。生活クラブってすごい宝の山。おいしくて安全なモノの共同購入というだけではなくてね。私たちひとりひとりが抱えている問題に寄り添ってくれるコミュニティ。頼りにしてま〜す。

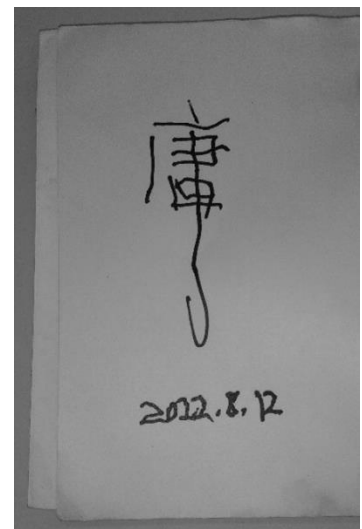
愛読している月刊機関誌『生活と自治』。中でも私が一番好きなのが辺見庸のエッセイです。「新・反時代のパンセ」。その連載百回(2014年2月〜)を記念し、著者を囲む対話の会が開かれました。会場は機関紙編集室のある新宿区。抽選で選ばれた三十人の中に入れて、ラッキー! 今回はこの感動を皆さまにお伝えします。

大好きな辺見さんが病気がちで杖を使い、愛犬と暮らしていることは、ブログで知っていました。破格でアナーキーな論調。でも、C.C.Rの「雨をみたかい」の曲に乗って登場した目の前の辺見さんは穏やかに語ります。「かつてベトナム戦争が

ありました」。ピンと来ました。この歌詞のリアル。「雨」の音はナパーム弾の降る音です。戦争に異議申し立てをする音楽が流行った頃の伝説と「今」と重ねて語りかける話者と読者である私たちの間に強い連帯感がありました。隣の人も、その隣の人も真剣そのもの。

さて、辺見さんが語ったのは「戦争の時代に抗ってどう生きるのか」。「私たちは思想を深められるか」。そこで、さあ… つまり、ただ、ただ、生きること。そして、私たちが、生活の場で、力を合わせて行動すること。これって、代理人運動じゃん。

(小川)

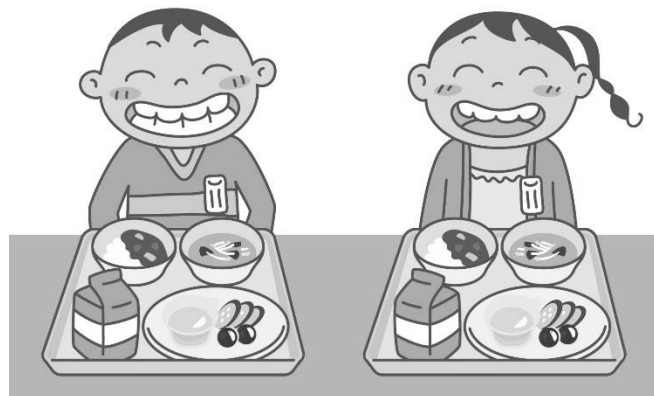


辺見さんのサイン

給食について「子どもと未来」を 開催しました！

子どもたちの未来のために何ができるかを、月1回集まって話し合う「子どもと未来」。2回目からは「給食について」をテーマにしました。以下はその時にでた声です。学校給食を管轄している教育委員会にも話を聞きに行きました。

- ・市が本当に自校式給食を進めたいのであれば、もっと積極的に進めることが出来るはず。
- ・センター式であっても食材がよければよい。
- ・食材が届くことがどんなに奇跡的なことかを分かっしてほしい。
- ・食材を一つでも変えていきませんかという運動に切り替えると広がるのではないか。
- ・給食費がこれ以上高くなったら困るとお母さんたちは言っている。
- ・農薬のかかった小麦粉を食べさせたくない。
- ・住民が直接問題を検討する場がほしい。
- ・私たちの活動が点になっている。関心持っているお母さんとどうつながっていくか。
- ・きちんと農業をしている人を調べる必要がある。
- ・埼玉県でどこまで自校式がひろがっているか。
- ・一種類でも地場産だと地場産を使った給食と数えられるのはおかしい。
- ・給食費は値上げする方向。無料化の方向にはいない。
- ・何年前にある人が校長にオーガニックになったらよいと言ったところ、給食しかごはんを食べていない子が何人もおり、オーガニックよりごはんを食べられるようにすることが先とのことだった。そういう子がいることと、自校式とか有機農産物が供給できないというのは別の問題だ。
- ・市役所の農政課など必要な人を何人か呼んで話し合いをしたい。
- ・登校班のお母さんたちは給食が食べられればいいという人ばかり。
- ・鴻巣市ではアレルギー対策の機械が導入されている。
- ・アレルギーは極端でなければ気にしていない親が多い。
- ・アレルギーの方から切り込んで、オーガニックに行った方がよいのではないか。



- ・自校式は学校の敷地内でやっているからアレルギー対応できている。
- ・木更津市では、条例や2030年のあるべき姿をまとめている。和食の給食では牛乳をなくすなど工夫をしている。
- ・熊谷市の状況を知ると同時に、他自治体で手本になるところを参考にして進めたらよい。
- ・他自治体の事例では、学校給食で有機農産物を使う活動の流れができている。
- ・学校給食の有機化を考えるグループをつくって、要望書をまとめ、市議に個別にお願いしに行ってみようか。
- ・他自治体の成功事例をまとめる。団体として提案する。
(まとめ:東)

なぜ代理人と呼ぶのか

誰もが人権を尊重され、安心して暮らしていけるにはどうしたらいいでしょう。議会に有能な議員を送り出すのも一つの方法です。でも、その議員の手腕を頼みにするのではなく、ネットワークをつくり、皆で地域の政治に関わる。その方がとっても有効です。熊谷市には「くまがや市民ネットワーク準備会」があります。代理人を議会に送りたいと勉強し、活動してきました。代理人運動が始まって長い年月がたちました。老婆心ながら…議会に議員を送り込み、みんなでその議員を応援するというのは代理人運動ではありません。ネットワークの全員が地域の政治に取り組むということです。代理人は私たちネットワークの代理として議会に乗りこみます。そこが何となくあやふやになっているようで気になっています。代理人運動についてきちんと学び直してみたいです。皆さんはどうですか。
(清水)